

**汚**れた水や不衛生な環境は、コレラや赤痢といった感染症の原因となる。

かつて戦後の日本も同様の課題を抱えていたが、その後の経済成長に伴い上下水道の普及が進み、水による疾患も減少した。しかし、たとえば世界では今なお約42億人が、排泄時に適切に管理された衛生施設（トイレ）を使用できない。その中には、道ばたや草むらなど屋外で用を足すしかない人々もいる。石けんや水が備わった基本的な手洗い設備が自宅にない環境で暮らしている人も30億人。さらに約22億人が安全に管理された飲み水を利用できず、このうち1億4,400万人は、湖や河川、用水路などの未処理の地表水を飲み水にしている。その結果、多くの人々が水によって引き起こされる疾患に悩まされている。

そんななか JICA は、施設整備や能

力強化による安全な水とトイレなどの衛生施設へのアクセス改善に加え、保健分野でも多くの協力を通じて、疾患の減少に貢献してきた。では疾患にはどんなものがあり、どのような協力を実施してきたのだろうか。

たとえばインドでは、乳幼児死亡率が非常に高い。主要な死亡原因には、不衛生な環境や安全ではない水が媒介する細菌や寄生虫、ウイルスによる急性下痢症疾患が含まれている。JICA は、同国で下痢症疾患対応の中核的役割を担う国立コレラ腸管感染症研究所 (NICED) に対し、同疾患の対策技術の強化や同技術の普及を目標に技術協力を続けてきた。

また、熱帯や亜熱帯地方を中心に広く分布する人獣共通感染症であるレプトスピラ感染症は、淡水や湿った土壌中に生息する菌が原因だ。人間が感染すると黄疸（肝障害）、腎不全、肺出血、

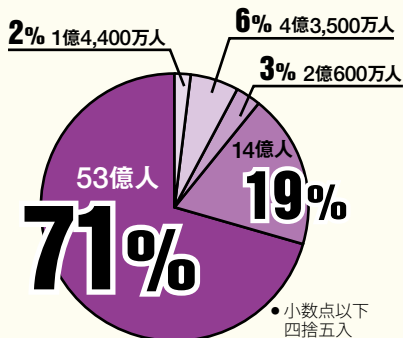
動物にも致死的な病態や流産、死産を引き起こし、日本でも沖縄県などで感染が確認されている。治療には高度な専門技術が必要で、さらには症状が他の感染症とよく似ているため臨床現場での診断も難しい。この感染症の流行国の一つであるフィリピンにおいては、JICA の協力のもと、日本とフィリピンの共同研究が行われ、診断法の開発、ワクチンの開発、予防啓発活動などが展開された。

上下水道やし尿処理施設などの整備による水質の改善とあわせて、疾患そのものへの対策を進めることで、人々の命と生活を守る——これは戦後の日本も歩んできた道だ。複雑で因果関係が入り組んだ現実の社会においては、ひとつの方法だけではなく包括的な取り組みを行うことが有効だ。今後も JICA の総合力を最大限に活用した協力の展開が期待されている。

## 衛生環境の改善と安全な水が疾患を防ぐ

今も多くの国や地域で、水に由来する疾患に悩まされ、命を失う人がいる。適切な衛生環境と安全な水が確保できればそのような疾患も減少するが、そのためには予算や労力、そして人々の意識改善が必要で、時間がかかる。JICA は水の改善に取り組みつつ、並行して、水によって引き起こされる疾患に関する協力にも取り組んでいる。

### 1 世界の人々の、飲み水へのアクセス状況 (2017年時点)

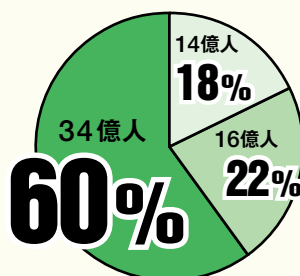


- 安全に管理された水を利用できる
- 基本的な飲み水<sup>\*1</sup>を利用できる
- 限定的な飲み水<sup>\*2</sup>を利用している
- 改善されていない水源を利用している
- 地表水(池や川の水)を利用している

\*1 配管給水、深井戸、保護された浅井戸・湧水、雨水などの改善された水源で、待ち時間を含め往復30分未満の水くみにより得られる水。

\*2 改善された水源であるが、待ち時間を含め往復30分以上の水くみにより得られる飲み水。

### 2 世界の人々の、自宅における手洗い設備へのアクセス状況 (2017年時点)



- 基本的な手洗い設備  
(正しい手洗いに必要な水と石けんが整った手洗い設備)
- 限定的な手洗い設備  
(正しい手洗いに必要な水または石けんがない手洗い設備)
- 手洗い設備はない  
(手洗いのための設備がまったくない)

1・2 出典：世界保健機関 (WHO) / 国際連合児童基金 (UNICEF) による共同調査プログラム (JMP) の「Progress on household drinking water, sanitation and hygiene (2000-2017)」をもとに作成。

### 3 約83万人が水衛生に関連する下痢によって死亡 (2016年)

#### ● ロタウイルス

乳幼児の重症急性胃腸炎の主要な原因病原体。この感染症による死亡の80%以上は途上国で起こっている<sup>\*3</sup>。

\*3 NIID 国立感染症研究所「ロタウイルス感染性胃腸炎とは」(2013年5月)

#### ● 大腸菌

日本でも食中毒の多くが大腸菌によって引き起こされている。多くの場合、水を介しての感染と考えられている。

